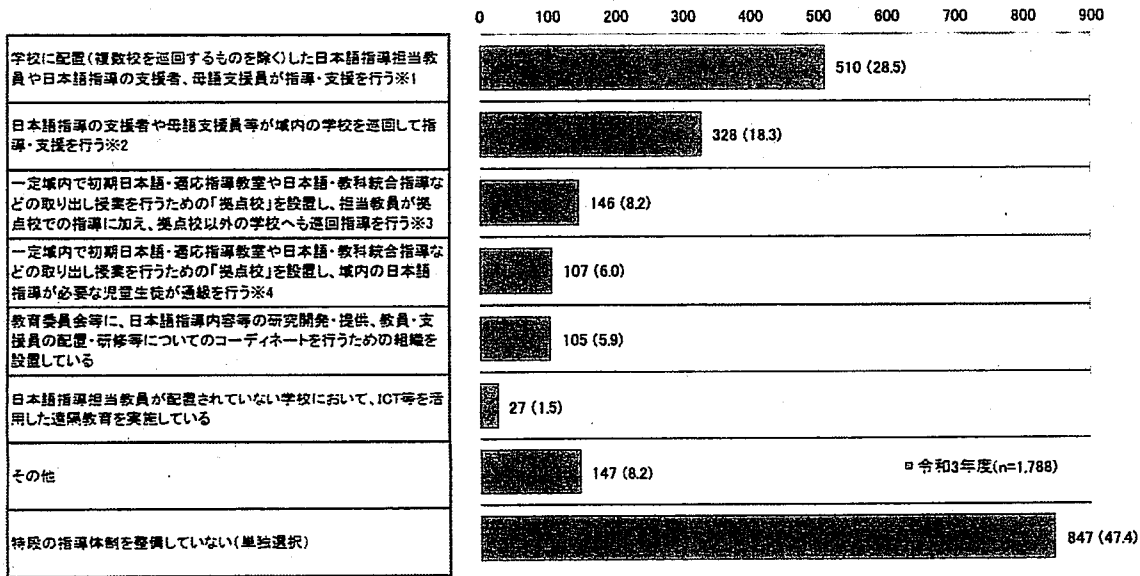


受験番号	
------	--

次の資料を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。

下の資料は、文部科学省『日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果報告書（概要版）』（令和4年10月18日公表・令和5年1月13日一部訂正）で示された「日本語指導が必要な児童生徒等の受入れに際しての指導体制の整備状況」の一部である。本調査における「日本語指導が必要な児童生徒」とは、「日本語で日常会話が十分にできない児童生徒、もしくは、日常会話ができても学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒」を指す。なお、本調査の対象は、小学校・中学校・高等学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校を所管する、合計1,788の都道府県教育委員会及び市町村教育委員会（特別区を含む）である。

【資料】



※回答地方公共団体数。()は構成比。
 ※1 ※3~4のような「拠点校」方式によるものを除く
 ※2 ※3の場合を除く

「その他」記載例：

- ・ タブレットの翻訳機能や音声機能を活用した指導。
 - ・ 週に一度、町内施設において、日本語指導員（町費雇用）による個別指導が行われている。
 - ・ 初期日本語・適応指導教室を教育委員会に設置し、域内の日本語指導が必要な児童生徒が通級を行う。
 - ・ 市国際交流協会と連携し、日本語サポートのボランティアに授業の入り込みや通訳等、依頼している。また、今後は外国人児童生徒日本語学習支援者の養成のための研修に、教育委員会も関わりながら、公的な支援体制を整備していく。
 - ・ 県の日本語講師派遣制度を活用
 - ・ 要請のあった学校へ国際交流担当部局からボランティアを派遣し日本語指導を行う措置を行っている。
 - ・ ボランティアとして、大学教員が放課後学習支援を実施。
- 等

出典：文部科学省『日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果報告書（概要版）』（令和4年10月18日公表・令和5年1月13日一部訂正）

https://www.mext.go.jp/content/20230113-mxt_kyokoku-000007294_3.pdf

【問1】 上記の資料から「整備された指導体制」について読み取れることを、300字以内で説明しなさい。ただし、解答は横書きとし、句読点も一字とする。

【問2】 資料に示された状況を踏まえて、もしあなたが日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学級の担任になった場合、日本語指導が必要な児童生徒に対して、どのような取り組みをしていきたいか、あなたの考えを600字以内で記述しなさい。記述の中で、想定する学校種（小学校、中学校、高等学校など）を明示すること。ただし、解答は横書きとし、句読点も一字とする。

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜:令和6年度)	問題番号	
対象学部・学科(課程)等	教育学部学校教育教員養成課程(教員養成特別枠・地域指定枠)		
出題のねらい	<p>① 出題のねらい 本学部アドミッション・ポリシー「教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等」を問うことである。</p> <p>② 出題の形式 解答時間は60分で2題を出題した。資料を示し、問いに答える形式とした。</p> <p>③ 出題内容の抜粋 次の資料を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。 (説明と資料提示、詳細は略。出典：文部科学省『日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果報告書(概要版)』(令和4年10月18日公表・令和5年1月13日一部訂正) https://www.mext.go.jp/content/20230113-mxt_kyokoku-000007294_3.pdf) 【問1】上記の資料から「整備された指導体制」について読み取れることを、300字以内で説明しなさい。ただし、解答は横書きとし、句読点も一字とする。 【問2】資料に示された状況を踏まえて、もしあなたが日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学級の担任になった場合、日本語指導が必要な児童生徒に対して、どのような取り組みをしていきたいか、あなたの考えを600字以内で記述しなさい。記述の中で、想定する学校種(小学校、中学校、高等学校など)を明示すること。ただし、解答は横書きとし、句読点も一字とする。</p>		
採点基準	4名の採点委員が、表現力・思考力の2観点で採点を行った。		